

# たかはぎ

2019.11  
No.156

## 議会だより

### 令和元年第3回定例会

会期 9月6日～9月25日

議案に対する質疑	3
委員会審査報告	4
市政に対する一般質問	5
討論・請願	11

第一幼稚園 運動会

令和元年第3回定例会に提出された議案等

事件番号	件名	内容	審議結果
報告第9号	高萩市健全化判断比率について	実質公債費比率 10.5% 将来負担比率 60.2%	—
報告第10号	高萩市資金不足比率について	水道事業会計 なし 工業用水道事業会計 なし	—
議案第34号	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	成年被後見人等の人権を尊重し、不当に差別されることがないように欠格条項その他の権利の制限に係る措置の適正化を図るための見直し。	原案可決
議案第35号	高萩市森林環境譲与税基金条例の制定について	森林環境譲与税が交付されるため、新たに基金を設置するもの。	原案可決
議案第36号	高萩市印鑑条例の一部改正について	印鑑登録証明書等の性別事項の削除及び旧氏での印鑑登録を可能にするもの。	原案可決
議案第37号	高萩市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	高萩市鳥獣被害対策実施隊員の報酬について規定するもの。	原案可決
議案第38号	高萩市行政財産使用料条例の一部改正について	消費税引上げに伴い、行政財産使用料の消費税相当分の率を改正するもの。	原案可決
議案第39号	高萩市建築確認申請等手数料条例の一部改正について	建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の一部改正に伴うもの。	原案可決
議案第40号	高萩市消防関係事務手数料条例の一部改正について	消費税引上げに伴い、国における手数料の標準額の見直しにより改正するもの。	原案可決
議案第41号	高萩市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	国の法律改正により、災害援護資金の償還金等の扱いについて見直すもの。	原案可決
議案第42号	高萩市廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部改正について	消費税引上げに伴い、し尿の収集、運搬手数料を改正するもの。	原案可決
議案第43号	高萩市都市公園条例の一部改正について	消費税引上げに伴い、都市公園の占用許可等に係る使用料を改正するもの。	原案可決
議案第44号	高萩市建築基準条例の一部改正について	建築基準法の一部改正に伴う、建築基準の見直し等。	原案可決
議案第45号	高萩市工業用水道事業条例の一部改正について	消費税引上げに伴い、料金を改正するもの。	原案可決
議案第46号	高萩市水道事業給水条例の一部改正について	消費税引上げに伴い、料金を改正するもの。	原案可決
議案第47号	中戸川辺地総合整備計画の変更について	広域農道の事業期間延長により、計画期間を変更するもの。	原案可決
議案第48号	令和元年度高萩市一般会計補正予算(第3号)	歳入歳出予算に1億6,615万5千円を追加するもの。一般廃棄物処理施設建設事業費負担金の増額等。	原案可決
議案第49号	令和元年度高萩市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出予算に2,003万4千円を追加するもの。支払準備基金積立金の増額等。	原案可決
議案第50号	令和元年度高萩市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出予算に1億1,261万2千円を追加するもの。支払基金過年度分返還金等の増。	原案可決
議案第51号	令和元年度高萩市水道事業会計補正予算(第1号)	収益的支出を33万6千円増額するもの。人事異動による人件費の補正。	原案可決
議案第52号	令和元年度高萩市工業用水道事業会計補正予算(第1号)	収益的支出を40万1千円増額するもの。人事異動による人件費の補正。	原案可決

事件番号	件名	内容	審議結果
議案第53号	平成30年度高萩市一般会計歳入歳出決算認定について	歳入 128億2,663万2,382円 歳出 123億3,739万1,885円	原案可決
議案第54号	平成30年度高萩市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	歳入 30億7,318万5,535円 歳出 30億4,686万9,345円	原案可決
議案第55号	平成30年度高萩市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	歳入 3億5,054万211円 歳出 3億5,020万711円	原案可決
議案第56号	平成30年度高萩市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	(保険事業勘定) 歳入 27億8,282万5,766円 歳出 26億7,036万8,259円	原案可決
議案第57号	平成30年度高萩市霊園事業特別会計歳入歳出決算認定について	歳入 2,361万5,224円 歳出 1,385万4,382円	原案可決
議案第58号	平成30年度高萩市水道事業会計決算認定について	収益的収入 7億1,397万509円、収益的支出 5億2,718万7,721円。資本的収入 8,436万6,800円、資本的支出 2億9,607万3,215円。	原案可決
議案第59号	平成30年度高萩市工業用水道事業会計決算認定について	収益的収入 2億798万3,281円、収益的支出 1億4,741万6,867円。資本的収入 なし、資本的支出 3,988万461円。	原案可決
議案第60号	高萩市水道事業会計利益の処分について	平成30年度末未処分利益剰余金残高3億4,780万7,643円のうち1億5千万円を減債積立金に積立て、1億9,068万831円を自己資本へ組み入れる。	原案可決
議案第61号	高萩市工業用水道事業会計利益の処分について	平成30年度末未処分利益剰余金残高1億47万3,494円のうち3千万円を減債積立金に積立て、2千万円を建設改良積立金に積立て、4,077万6,744円を自己資本へ組み入れる。	原案可決
議案第62号	高萩市議会議員の定数を定める条例の一部改正について	議員定数を16人から14人に削減するもの。	原案可決
	議員の派遣について	茨城県市議会議長会議員研修会への派遣をするもの。	原案可決
議案第63号	高萩市議会委員会条例の一部改正について	高萩市議会議員の定数を定める条例の一部改正に伴い、委員会の定数を改正するもの。	原案可決
意見書案第2号	教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書の提出について	今回提出された請願の採択により、議会としての意見書を政府に提出するもの。	原案決議

議案質疑

議案第48号 令和元年度高萩市一般会計補正予算(第3号)

坪和 久男 議員

質問 高萩・北茨城広域事務組合一般廃棄物処理施設建設事業費負担金総額2億7307万3千円の内容について伺います。

市民生活部長 施設整備総事業費につきましては、131億円と想定。この想定事業費から、国の補助金等の約100億円を除き、本市の負担割合分37%により、令和4年度末までの建設事業費負担金として継続費補正総額2億7307万3千円を計上したものです。

質問 広域ごみ処理施設の完成予定について伺います。

市民生活部長 建設期間は、契約締結後36か月とし、令和4年度末竣工、令和5年度当初、供用開始を想定しております。

質問 造成工事について伺います。

市民生活部長 来年2月ごろに契約を締結し、約6か月間の造成期間を予定しております。

質問 市民、地元住民への説明について伺います。

市民生活部長 予算議決後に丁寧な説明会を実施してまいります。

## 文教厚生委員会

9月13日、当委員会に付託された議案6件と請願1件の審査を行った。

### ○令和元年度高萩市一般会計補正予算(3号)

**問** 幼児教育・保育の無償化に関する補正予算の算定内容を伺います。

**答** 保護者からの負担を予定していた歳入の幼稚園授業料285万3000円が減額。保育所保育料(公立分)等で257万円が減額。この2つが減額となる合計額542万3000円に対して「子ども・子育て支援臨時交付金」が無償化に伴う財源として交付されます。

**問** 保育料が無償化になるのはどの程度までが無償で、どういふものが自己負担となるのか伺います。

**答** 無償化の対象範囲は、3歳から5歳までのすべての子と0歳から2歳までの住民税非課税世帯の子で、幼稚園、保育所、認定こども園等の保育料が無償化となりません。また、幼稚園の預かり保育、認可外保育施設等も無償化となりません。しかし、認可保育所等の延長保育料は対象外です。また、今までも実費で徴収しております通

園・送迎費、行事等の費用につきましては利用者の負担となります。なお副食費というおかず代は、今まで保育料に入ってましたが、この分は引き続き利用者の負担となります。



## 総務産業委員会

9月17日、当委員会に付託された議案14件の審査を行った。

### ○令和元年度高萩市一般会計補正予算(3号)

**問** 寄附金・高萩こころの里支援寄附金(ふるさと納税) 今回の寄附件数について伺います。

**答** 今回補正計上する、ふるさと納税額は、4月から7月中旬までの寄附金で、60件の寄附を頂きました。

**問** 各事務経費の中で、職員手当の補正は、4月人事異動での調整作業であるが、何人の職員と退職者が反映したのか伺います。

**答** 3月31日付け退職者については15名、4月1日付け、定期人事異動は、62名で合わせて77名が対象となる補正です。

**問** 森林経営管理経費の積立金の内容を伺います。

**答** 議案第35号の高萩市森林環境譲与税基金条例の制定に伴い、市が実施する森林の整備及びその促進に関する施策に充てる積立金の財源となります。(地球温暖化対策による基金)



間伐前 ⇒ 間伐後

## 決算特別委員会

9月18・19・20日、当委員会に付託された議案9件の審査を行った。

### ○平成30年度高萩市一般会計歳入歳出決算認定について

**問** 市長室開放事務経費について、これまで4回開催して、9組、21名が参加したということですが、開催してきた中で、政策的に取り組む事案はあったか、また、既に身近なもので実行したものがあつたか伺います。

**答** 懇談の主な内容につきまして、駅前活性化、公共交通の充実、協同病院跡地の利活用、高齢者の健康施策、高萩の昔話と伝説の活用等、市のまちづくりについて提案等をいただきました。

その中でも、山間地から始めたデマンド型乗合タクシーを、買い物に不自由な人が多いというご意見から、市内の公共交通空白地帯に広げていく事業や、シルバリーハビリ体操をますます拡大するよう、3級のリハビリ体操指導士が昨年の養成人数3名から7名の受講者が増えたというのも、一つ市長室の開放事業の成果であると思えます。



大森要一 議員

長久保赤水の顕彰について

質問 長久保赤水顕彰会と協力をしながら、顕彰事業を進めてもられたと思いますが、これまでの市の取り組みについて伺います。

教育部長 本市では、長久保赤水資料の収集、所在の把握に努め、保管資料の適切な維持管理を図り、一般に展示公開することともに、内閣府や研究機関等の求めに応じて、写真等の資料データを提供したりするなど、郷土の先人である長久保赤水の顕彰を行ってきました。

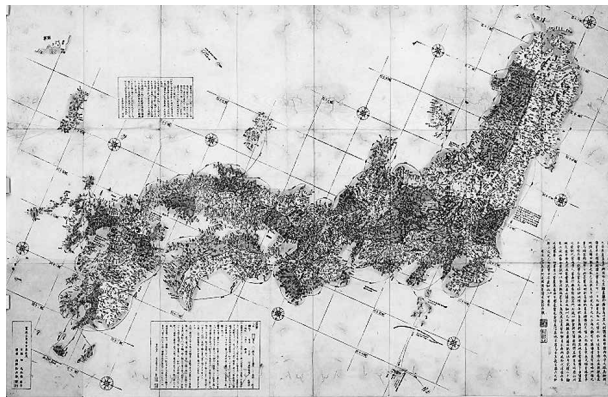
また、特に貴重な資料については、文化財として指定し、その資料の重要性や価値について周知を図っています。

質問 これからの顕彰のあり方について伺います。

教育部長 引き続き、資料の収集、所在の把握に努め、それら資料の適正な維持管理、展示、公開を行い、収集した資料の詳細な調査と研究を進めていきます。特に、長久保赤水顕彰会では、書簡集の現代語訳本や改正日本輿地路程全図原寸大レプリカの発行など、精力的に顕彰事業に取り組んでますの

で、市としても、これらの活動を支援、協力し、諸団体と一体となつて、赤水の顕彰を市内外に広め、活性化につなげていきたいと考えます。

また、これらの貴重な資料の保管、展示施設として、記念館の必要性についても認識しておりますが、市としては、まず収集した資料の調査、研究を進めるとともに、デジタル化などのソフト事業を優先していきたいと考えます。



「改正日本輿地路程全図 (第2版)」

その他の質問

○高萩市の観光について



平正三 議員

高齢者の自動車運転に対する安全対策について

質問 高齢者の運転には個人差があるとともに自動車の利用が欠かせない人もいます。高齢者の安全運転を図るために、後づけ急加速抑制装置設置に補助制度を設ける必要があるが考えを伺いたい。

市長 急発進防止装置補助制度導入は、高齢者の安全対策だけでなく、生きがいづくりや外出支援にもつながると考えており検討していきたい。

市道1261号線(千代町団地北側)の側溝整備について

質問 昨年9月議会の質問後、どのように検討されてきたのか伺いたい。

産業建設部長 道路が狭いことに加え、側溝にふたがなく交通安全上問題がある。宅地と道路の高低差や建物の影響など、課題解決のため地元の意見を伺いながら検討を進めていきたい。

市営住宅問題について

質問 市営住宅の空き戸数について伺いたい。

産業建設部長 募集を停止している萩ヶ丘住宅を除く5777戸のうち、空き戸数は103戸です。

質問 空き戸数による減収額はいくらになるか。

産業建設部長 年額約2700万円です。

質問 国の改正を受け、保証人に関する市条例の見直しを求めたいが、その後の取り組みについて伺いたい。

産業建設部長 改正民法が施行される来年の4月1日に向け、連帯保証人制度について、必要性を含めて総合的に判断していきたい。



市道1261号線(千代町団地北側)



渡辺悦夫 議員

小中学校の教育環境の充実について

質問 市内小中学校、幼稚園のエアコン、防犯カメラの設置状況について伺います。

教育部長 エアコンは6月末迄に、防犯カメラは8月末迄に、市内全ての幼稚園及び小中学校に設置が完了しました。

生活道路の整備推進について

質問 安良川浜野町踏切の排水対策および、常陽銀行脇の一方通行解消の進捗状況について伺います。

産業建設部長 浜野町排水路の、冠水対策のため、排水路整備工事を実施し、豪雨等による冠水の確認はありません。常陽銀行の一方通行の市道は地権者に事業協力をお願いしておりますが、御理解が得られない状況であります。

市内にある2か所のダムの有効活用について

質問 小山ダムのアウトドア等の成果を伺います。

企画部長 小山ダムの活用については、新たな取り組みとして「高萩アウトドアフィールドはぎびレッジ」を開設し、カヌーやグラウンピング、花貫川でのシャワーウオーク等を体験メニューに取り入れております。

中心市街地の活性化について

質問 駅前ヨーカー跡地について何か問い合わせ、もしくはアプローチ等をしたか伺います。

市長 駅前については、地権者の方も積極的に誘致活動に取り組まれており、今後も地権者と協力し、精力的に取り組んでまいります。

市内巡回バスの運行の在り方について

質問 路線バスについて、今後も現行のシステムで継続していくのか、執行部の考えを伺います。

企画部長 路線バスの運行は、利用者のニーズに合わせた路線の再編について必要に応じて運行事業者と協議してまいります。



常陽銀行脇の一方通行



根本 茂 議員

災害は忘れた頃やってくる

質問 「東日本大震災」以後、高萩市民への情報伝達手段の経過を伺います。

市民生活部長 主な整備経過は、平成23年度から臨時災害FMの開局をはじめに、FMラジオの全戸配布・防災行政無線・ツイッターの開始以後、エリアメール・ライン・フェイスブック・戸別受信機など、多くの伝達手段の拡充に努めてきました。



防災行政無線戸別受信機



質問 「防災マップ」の大雨編を見ますと花貫川及び関根川の影響で大きく浸水する事から河川管理者の茨城県への陳情に市長が先頭に立って尽力して頂きたい。また、陳情成果が有れば伺います。

市長 災害から市民の生命財産を守るために、河川内の土砂撤去(浚渫)は、重要な災害対策です。

国・県の工事担当部署へ強い要望をしております。陳情活動の結果として今年度、川側橋より上流へ330m区間の浚渫工事を行います。

その他の質問

○高萩市観光振興計画について  
○寄附された新種桜について



坪和久男 議員

**高齢者のごみ出し支援について**

**質問** 環境省は、自治体などが高齢者宅まで出向いて回収を行うごみ出し支援、制度の拡充に乗り出す方針を決めました。高萩市は今後どのように推進していくのか、市長の考え方を伺います。

**市長** 高齢化社会に対応したごみ処理システム構築に向け、今後環境省から示される予定のガイドラインや他市町村の先行事例を参考にしながら、本市に合ったごみ回収について検討してまいりたいと考えております。



**質問** 高萩市の相談窓口について伺います。

**健康福祉部長** 高齢者の総合相談窓口として、高齢福祉課内の地域包括支援センターにおいて相談を受けております。また、市が委託しております在宅介護支援セン

ターのひたちの森高萩、JA常陸聖孝園高萩東口の3か所においても相談を受けております。

**花貫溪谷の魅力度アップによる交流人口拡大について**

**質問** 観光振興計画に基づく今年度の取り組みの中で、ライトアップのバージョンアップについて伺います。

**産業建設部長** 昨年度はライトアップを試行的に実施して、つり橋周辺に5基、駐車場に4基設置し、合わせて9基を設置したところでございます。ライトの数を昨年度の2倍の約20基程度にふやし、配置につきましても昨年度の課題も踏まえ、もみじが映えるような位置にライトを設置する予定となっております。また、議員御提案のつり橋のイルミネーションの設置につきましては、検討してまいりたいと観光協会から伺っております。



花貫溪谷つり橋のライトアップ



田所和雄 議員

**将来人口目標と人口減少対策について**

**質問** 本市の人口目標の設定とその根拠について伺います。

**企画部長** 人口減少が少子化による自然減と若年層の転出による社会減を要因に進行してきた背景を踏まえ、少子化対策の着実な実施と、移住・定住促進政策による戦略的な人口減少の抑制、安定化を目指します。目標は、自然減、社会減を抑制し、西暦2040年の社人研将来人口推計である約2万人より多い2万2200人です。

**質問** 人口ビジョンでは、2020年の合計特殊出生率を1.6としているが、現状の施策で2200人増の設定目標が実現可能か。

**企画部長** 2040年の2万2200人の達成に向け不断の努力をしてまいります。

**質問** 現在の高萩市創生総合戦略は5年目を迎えたが、次期戦略の策定について伺います。

**市長** 国から引き続き地方創生を進める方針が示されました。次期総合戦略を第6次高萩市総合計画と計画年度を合わせ、令和3年度

を初年度として策定します。

**子育て支援策の強化について**

**質問** 子ども・子育て支援には、社会全体で取り組む必要があり、3歳児以上の幼児教育・保育の無償化は画期的なことです。現在策定中の萩っ子・子育て支援計画の概要について伺います。

**健康福祉部長** 質の高い子育て支援等の計画的な提供を目的に、令和2年度から5年間の計画策定に取り組んでいます。人口推計や第1期の実績値、ニーズ調査等とともに、ニーズ量の確保に向けて本市の支援事業を示すものとして





我妻康伸 議員

安心安全なまちづくりについて

質問 市内には、花貫川や関根川の2級河川があります。私は現状のままでは市民の不安が大きいと思います。市長は現状をどのように考えているのか伺います。

市長 近年の豪雨につきましても、想定を超える雨量が観測されており、それに伴い被災規模が大規模化する傾向があると認識しております。茨城県が管理しております花貫川、関根川につきましては、未改修の区間があること。河川に土砂が堆積している箇所が見受けられることから、河川の改修やしゅんせつなど適正な維持管理が必要であると考えております。

質問 高萩市洪水避難計画を策定しておりますが、避難情報の発令判断はどのようなになっているのか伺います。

市民生活部長 関根川に設置してある下手水位観測所、花貫川に設置してある島名水位観測所の水位をもとに避難情報発令判断水位を定めております。

質問 児童生徒に対する防災教育はもとより、市民に対する防災啓

発の徹底が重要と思えます。市民参加型の防災教育、防災啓発事業を実施してもらいたい。市長の意見を伺います。

市長 市民の生命を守るためには市民一人一人の防災・減災に対する意識を高める取り組みが重要であると認識しております。市の防災への取り組みやマイタイムラインの作成など、自助・共助の意識を習得できる出前講座の実施など、引き続き防災意識の高揚を図ってまいります。



台風 19 号による被害（花貫川・秋山地内）



今川敏宏 議員

高萩創生 持続可能なまちづくりについて

質問 今回の質問は、高萩創生SDGsへの次なる展開ということ。まず市長のビジョンを伺います。

市長 私が考える将来像は、いたってシンプルです。現在の平和で豊かな生活を10年、20年、30年先においても持続していくことです。質問 市には多くの計画があるが、市長のビジョンが反映されるのかどうか伺います。

企画部長 現在取り組んでいる最上位計画の第6次高萩市総合計画、他の計画におきましても、市長のビジョンを反映するものと考えています。

質問 市内産業支援の見解を伺います。

産業建設部長 現在も支援策はありますが、今後も努めていきます。

質問 国道6号線の1日の交通量は1万5千台から2万台あり、市が新たに大金や手を加えなくても大きな資産と言えます。6国の有効活用をビジョンに入れませんか。市長 いろいろ課題があるので研究してまいります。



SDGs  
ホイールバッジ



質問 高齢者対策という負担感を越えて、豊富な経験と技術を持つ活躍してもらおう高齢者協同シティを提案しますが見解を伺います。

市長 高齢者協同とは、高齢者自身がまちづくりの担い手として協力することにより、生涯現役、生きがい創出、人口減少による人手不足対策の一助となることと認識しております。





八木陽子 議員

市内巡回の小型路線バスの導入について

質問 以前、提案しましたグリーンスローモビリティ事業の検討状況を伺います。

市長 グリーンスローモビリティの導入には、さまざまな課題を整理する必要があります。早急な導入は難しく研究課題と考えております。

質問 高萩市の高齢化率は34.7%と高く、65歳以上の単独世帯数は高浜町が市内で3番目に多い状況です。高齢の方は足腰の問題を抱えており、買い物や通院に困っています。高浜町では9月にスーパーが閉店します。お店の奥様は面倒見がよく、地域の方々の悩みや相談ごとに応じ通院などの送り迎えもしていました。お店そのものが地域の方々のコミュニティの場でもありました。利用していた高齢の方々はとてもショックを受け途方に暮れています。こういった問題は高浜町だけでなくこの地区でも抱えている問題です。重い荷物を持つて歩くことのつらさを解決するため、小型巡回バスの運行を考えていただきた

い。

企画部長 バスやタクシーのそれぞれの特徴や運行事業者の状況、市の財政負担などを総合的に勘案し、昨年度より山間地域においてデマンド型乗り合いタクシーの試行運行を開始したところです。

質問 デマンド型タクシーの拡充はお考えですか。

企画部長 市内全体への導入は、他市の事例からも様々な課題がありますので十分に検討してまいります。



グリーンスローモビリティの実験車両

その他の質問

○心肺蘇生法補助手袋の設置について



大足光司 議員

中心市街地の活性化について

質問 中心市街地の活性化についてどのように賑わいを取り戻していくのか。今後の取り組みは。

市長 総合計画基本構想の中でこの地域においては交通の利便性を生かし、店舗や事務所を集約させ、さらにインフラを効果的に整備することにより、最も賑わいのある地域を目指すこととしている。この方針に基づき、まちの利便性を高め、より人が集まり賑わいのあるまちづくりを実現させていくことが中心市街地活性化に繋がると考えている。

活性化に係る検討の進め方は、庁内プロジェクトチームでハード・ソフト両面から検討し、高萩駅前広場ロータリーやバスターミナルも含めた整備のための調査検討を進めている。今後、検討結果を踏まえ駅西口の一体としての整備検討を進めるとともに、持続あるまちの実現、持続ある生活を維持させていくために、賑わいのあるまちの実現を目指すため、停滞なくトップセールスを続けて参る。

企画部長 ハード面では高萩駅西口駅前広場再整備条件検討調査委託業務により検討している。具体的には課題となっていた朝夕における通勤・通学送迎者による駅前ロータリー付近の渋滞や、利用しやすく効率的なバスターミナルやタクシー待合スペースの配置等、他市の整備事例等を参考にしながら、どのような整備が望ましいかを調査検討している。



現在の駅前バスターミナル

その他の質問

○公営キャンプ場について  
○災害時の避難所の職員体制など



菊地正芳 議員

防災行政について

質問 液体ミルクの備蓄について進捗を伺う。また、国内で販売されている液体ミルクは、哺乳瓶に移しかえての使用になるため使い捨て哺乳瓶の備蓄もあわせてすべきと思うが見解を伺う。

市民生活部長 平成31年第1回定例会において議員より提案を受け導入を検討してまいりました。その結果、備蓄品としての使い勝手のよさや、賞味期限が1年間である商品が発売となったことなどを勘案し本市におきまして、来年度まずは試験的に導入を検討して参りたいと考えております。また、災害時の備蓄用として、衛生面に配慮するためにも、議員御提案のとおり、使い捨て哺乳瓶も備蓄する必要があると考えておりますので検討してまいります。

質問 感震ブレーカー設置補助金の創設について見解を伺う。

消防長 感震ブレーカーの設置補助につきましては、さらなる広報活動に加え、感震ブレーカーの設置状況や理解度を調査し研究してまいりたいと考えております。

電子母子手帳について

質問 電子母子手帳導入について、その後の進捗について伺う。

健康福祉部長 電子母子手帳の導入につきましては、紙媒体の母子健康手帳や子育てハンドブック「はぎハピ」、ホームページ「はぎハピ」などと合わせて活用できるように、電子母子手帳の導入に向けた検討を行って参ります。



その他の質問

- 市民の安全安心について
- ・ドライブレコーダー購入費の一部助成の実施
- ・地域防犯カメラ設置補助制度の導入



吉川道隆 議員

観光振興について

質問 観光振興計画の進捗管理をするために観光協議会が設置され、年3回の会議を行うそうだが、何を期待しているのか。

市長 事業の進捗状況を共有し、関係者とのヒヤリング、意見、情報交換を行い、より実効性の高い計画になることを期待している。

質問 観光の案内板があるべきところになかったり、よく見えなかったりして不親切。ネット上でもわかりづらいという口コミがある。観光を推進していくのなら、情報を発信する前に十分な整備が必要だと思いがどうか。

市長 内部でも協議し、市民からの要望もかなり来ている。逐次これから整備していきたい。

質問 北茨城市のオートキャンプ場がすごく人気がある。利用料はかかるが、設備が整っているので、夏休みは満員で約5千人来ていることになる。高萩市の今年から始めたはぎビレッジの体験者数は。企画部長 カヌーやボートなどの体験者数は、合計で515人。

質問 高萩市のアウトドアはこれから、はぎビレッジのような形で

推進していくのか。  
市長 これを入り口としてこのような形で拡充していく。

幼小中連携について

質問 公立幼稚園、保育所、建物の老朽化は進んでいる。整備について検討中だが、どうなっているか。いつまでに計画を出すのか。

教育部長 将来的に一施設に集約を図ることを含めて、中学校単位の施設整備に向けて検討し、本年12月に計画を策定する。



はぎビレッジ グランピング施設

その他の質問

○SDGsの取り組みについて

# 討論

議案第62号 高萩市議会議員の定数を定める条例の一部改正について

賛成討論 我妻 康伸 議員

高萩市の議員定数は、平成23年に2人を削減し、現在の16人となっております。

市民の方から議員定数の見直しをしてはどうかという意見があります。定数が多過ぎる、議員みずから身を切る改革をとの声をよく耳にします。私は議員定数を削減することが、市民の方にとっては一番の議会改革になるのではないかと思います。

数字で論じるのも御批判もあるでしょうが、今年新たな議員定数が適用される市は95市あります。95市のうち議員定数16人の市議会は9市あります。それらの市の人口の平均は4万180人であります。議会の審査能力が低下するのではないかと、市民の意見が反映されにくくなるのではないかと危惧される場所もあるでしょうが、我々議員が自己研さんし、資質の向上を図り、広く公平・公正な議員活動をすることにより、市民の負託に応えていくことができると思っております。

## 請願・陳情の審議結果

件名	結果
教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書を求める請願	採択

## 研修会報告

### ◇埴町議会議員との交流研修会

県道高萩埴線整備促進のための高萩市・埴町両議会議員交流研修会が、10月1日に行われました。この研修会は、毎年両市町交代で、今年度は埴町が会場となりました。

埴町では、県道高萩埴線を利用した、自転車による地域づくりに取り組んでおり、埴町、まち振興課の吉成課長から事業の説明を受けました。



両市町議員は、その後、埴町内の「子育て若者定住促進住宅団地」「埴町立はなわこども園建設現場」「遠野興産チップ工場」を見学しました。

## 議会日誌

- 8月 28日 議会運営委員会
- 29日 議会全員協議会
- 30日 日立・高萩広域下水道組合議会臨時会
- 9月 6～25日 第3回定例会
- 25日 議会広報委員会
- 26日 高萩・北茨城市工業用水道企業団定例会
- 10月 1日 高萩・埴線整備促進のための高萩市・埴町両議会議員交流研修会
- 9日 高萩・北茨城広域事務組合議会臨時会
- 11日 茨城県北市議会議長会定例会
- 15日 茨城県市議会議長会定例会
- 16日 議会運営委員会
- 23日 議会広報委員会
- 第2回臨時会
- 議会広報委員会

下手綱在住 上岡 二郎 さん

私は高萩に住んで34年になります。定年退職を機に地域に密着した活動に関心を持ち、高萩市の生涯学習推進事業の一環である「高萩のぞみ大学」の存在を知りました。高萩のぞみ大学での様々な活動を通して、市民として地域に関心を持ち交流を深める重要性を学んでいます。

その活動の中で、高萩市議会定例会の一般質問を傍聴させていただきました。高萩市は現在、人口の減少と高齢化に伴い様々な課題を抱えています。人口減少をできるだけ抑える取り組みが必要である一方、少子高齢社会を前提としたまちづくりが求められていると知りました。

そのためにも若い世代が就労や結婚、出産、子育てができるよう、高齢者に対する医療、

福祉の充実など市民のニーズを反映した姿勢に期待が高まっています。子供からお年寄りまですべての市民が安心できる住みやすいまちになるよう、市民1人ひとりが市政に関心を持つことが大切だと思います。



## いきいき茨城ゆめ国体 45年ぶりの茨城国体

「いきいき茨城ゆめ国体」みなさんをご覧になりましたか。

高萩市では、ウエイトリフティング競技を高萩市文化会館で、軟式野球競技を高萩市民球場で実施しました。



市議会からは寺岡議長が、表彰式のプレゼンターを務めました。写真は、茨城県代表として女子55kg級トータルで準優勝した内門沙綾さんです。



### 議会広報委員会

委員長 大森 要二  
副委員長 八木 陽子  
委員 大木 光司  
大足 康伸  
我妻 悦夫  
渡辺 久茂  
坪和 久茂  
根本 茂

早いもので任期4年が経とうとしております。任期中最後の定例会が終了しました。

今回の定例会初日には、議員定数2名の削減について可決されました。11月の改選後は14名となり、県内の市では議員定数が一番少ない市議会となります。

この広報委員会も、現在のメンバーでの編集は今号が最後となりました。市民の皆さんに読みやすく、わかりやすくお伝えできるよう、紙面づくりに取り組んでまいりましたが、次号からは新メンバーでの発行となります。引き続き一人でも多くの方が手に取っていただけますようお願いいたします。

(我妻 康伸 記)